

## 2 令和3年度 津島市民病院事業会計決算状況

### (1) 令和3年度 津島市民病院事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

1	医業収益			
(1)	入院収益	4,879,718,766		
(2)	外来収益	2,147,831,946		
(3)	その他医業収益	575,540,647	7,603,091,359	
2	医業費用			
(1)	給与費	5,226,919,580		
(2)	材料費	1,597,960,801		
(3)	経費	1,377,285,902		
(4)	減価償却費	532,420,916		
(5)	資産減耗費	13,491,056		
(6)	研究研修費	12,792,097	8,760,870,352	
	医業損失			1,157,778,993
3	医業外収益			
(1)	受取利息配当金	13,588		
(2)	他会計補助金	243,080,920		
(3)	補助金	1,244,164,405		
(4)	負担金交付金	260,019,000		
(5)	長期前受金戻入	303,368,452		
(6)	その他医業外収益	59,493,257	2,110,139,622	
4	医業外費用			
(1)	支払利息及び 企業債取扱諸費	110,162,878		
(2)	長期前払消費税 勘定償却	21,948,000		
(3)	雑損失	0		
(4)	雑支出	312,108,313	444,219,191	1,665,920,431
	経常利益			508,141,438
5	特別利益			
(1)	固定資産売却益	0		
(2)	過年度損益修正益	0		
(3)	その他特別利益	0	0	
6	特別損失			
(1)	固定資産売却損	0		
(2)	過年度損益修正損	0		
(3)	その他特別損失	0	0	0
	当年度純利益			508,141,438
	前年度繰越欠損金			8,180,441,091
	当年度未処理欠損金			7,672,299,653

## (2) 令和3年度 津島市民病院事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

## 資産の部

(単位：円)

1	固定資産			
(1)	有形固定資産			
イ	土地		180,303,049	
ロ	建物	8,008,138,436		
	減価償却累計額	3,658,947,948	4,349,190,488	
ハ	建物附属設備	7,341,668,309		
	減価償却累計額	6,965,114,523	376,553,786	
ニ	構築物	428,107,737		
	減価償却累計額	398,214,166	29,893,571	
ホ	器械備品	6,185,668,638		
	減価償却累計額	4,973,453,086	1,212,215,552	
ヘ	車両	7,283,369		
	減価償却累計額	6,401,214	882,155	
ト	リース資産	204,609,960		
	減価償却累計額	23,871,162	180,738,798	
	有形固定資産合計			6,329,777,399
(2)	無形固定資産			
イ	電話加入権		323,300	
	無形固定資産合計			323,300
(3)	投資			
イ	長期前払消費税		50,718,479	
ロ	その他投資		89,800,000	
	投資合計			140,518,479
	固定資産合計			6,470,619,178
2	流動資産			
(1)	現金・預金			1,607,222,376
(2)	未収金	1,412,775,496		
	貸倒引当金	△4,935,370	1,407,840,126	
(3)	貯蔵品			71,771,102
	流動資産合計			3,086,833,604
	資産合計			9,557,452,782

## 負債の部

(単位：円)

3 固定負債			
(1) 企業債		6,292,613,272	
(2) 他会計借入金		1,062,749,000	
(3) リース債務		160,277,802	
(4) 引当金			
イ 退職給付引当金	1,874,599,867		
ロ その他引当金	89,800,000		
引当金合計	<u>1,964,399,867</u>		
固定負債合計		<u>1,964,399,867</u>	9,480,039,941
4 流動負債			
(1) 企業債		878,081,826	
(2) 他会計借入金		124,580,000	
(3) リース債務		20,460,996	
(4) 未払金		893,023,702	
(5) 引当金			
イ 賞与引当金	263,437,036		
引当金合計	<u>263,437,036</u>		
(6) その他流動負債		500,000	
流動負債合計		<u>2,180,083,560</u>	2,180,083,560
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		9,559,352,740	
(2) 収益化累計額		<u>△7,158,305,793</u>	
繰延収益合計			<u>2,401,046,947</u>
負債合計			<u>14,061,170,448</u>

資本の部

(単位：円)

6	資	本	金		
(1)	固	有	資	本	金
				102,130,337	
(2)	繰	入	資	本	金
				1,990,626,393	
(3)	組	入	資	本	金
				<u>1,039,387,729</u>	
			資	本	金
			合	計	3,132,144,459
7	剰	余	金		
(1)	資	本	剰	余	金
				35,416,000	
(2)	利	益	剰	余	金
	イ	減	債	積	立
				1,021,528	
	ロ	当	年	度	未
				7,672,299,653	
			利	益	剰
			余	金	合
			計		
				<u>△7,671,278,125</u>	
			剰	余	金
			合	計	△7,635,862,125
			資	本	合
			計		△4,503,717,666
			負	債	資
			本	合	計
					<u>9,557,452,782</u>

### (3) 総括事項

令和3年度は、年度当初のアルファ株流行による「第4波」、夏のデルタ株流行による「第5波」、冬のおミクロン株流行による「第6波」と、1年を通して変異株が猛威を振るい、前年度同様、「新型コロナウイルス感染症」の影響を大きく受けることとなりました。

津島市民病院では、引き続き、5階西病棟の一部を「新型コロナウイルス感染症対応病棟」として、中等症・軽症・感染疑いの患者さんの入院に対応しました。4月よりコロナ対応病床を、前年度の8床から2床増やし10床としました。また、9月以降の感染拡大時には14床まで増床して、前年度より125人多い、186人の新規入院患者さんを受け入れました。

コロナ関連の患者さんは増加しましたが、前年度からの「受診控え」や「他の感染症の減少」は続き、病院全体の入院患者数及び外来患者数は伸び悩みました。入院延べ患者数は93,440人（1日平均256.0人）、前年度比較で1,675人（1.8%）の減少、外来延べ患者数は、145,857人（1日平均602.7人）、前年度比較で1,212人（0.8%）の減少となりました。

新型コロナウイルス感染症に適切に対応するために、また、収益の大幅な減収を補うために、前年度同様、医療職の適切な対応等を背景とした「新型コロナウイルス関連補助金等の最大限の活用」に努めました。新型コロナウイルス感染症患者の入院のための空床確保に対する補助金をはじめ、総額で1,245,671,000円の交付を受けることができました。

事業収益は、9,713,230,981円（前年度比478,646,108円（4.7%）の減）、事業費用は、9,205,089,543円（前年度比197,298,444円（2.1%）の減）となり、収益的収支で508,141,438円の純利益となりました。

今後も、「地域に必要な、なくてはならない病院」としての役割を果たすとともに、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えながら、医療の質の向上、経営強化の推進に取り組み、安定的かつ継続的な事業運営に努めます。

#### (4) 経営指標に関する事項

令和3年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す「経常収支比率」は、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少及び関連する補助金の減少により、前年度比3.0ポイント減の105.5%となりましたが、健全経営の水準とされる100%を上回っています。

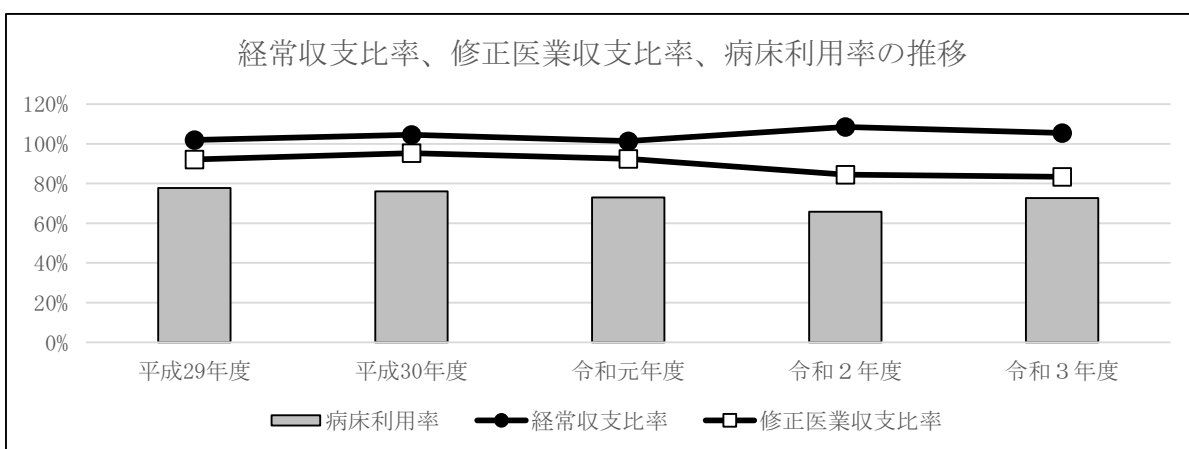
また、経営の収益性を示す「修正医業収支比率」は、前年度比1.1ポイント減の83.4%となりました。令和元年度以降、患者数の減少により下降傾向にあり、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により更に顕著になっています。

一方、施設の活用度合いを示す「病床利用率」は、前年度比で6.9ポイント増の72.7%となりました。これは、令和2年度に病床の有効活用・急性期医療への注力のため実施した病棟再編により、許可病床数を削減し、病床の効率的運用を図ったことによります。しかしながら、1病棟を新型コロナウイルス感染症対応病棟としており、通常運用できていないことなどから、令和元年度以前より下回っています。

今後も引き続き、医師確保対策、診療報酬の適正請求、開業医との連携強化、経費の削減、人員配置の適正化等に取り組むと共に、更なる医療の質の向上により、経営の健全性及び効率性の向上を図っていきます。

#### 経営指標の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支比率	101.9%	104.5%	101.4%	108.5%	105.5%
修正医業収支比率	92.2%	95.3%	92.5%	84.5%	83.4%
病床利用率	77.7%	76.1%	73.0%	65.8%	72.7%



#### 【経常収支比率】

医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、病院活動による収益状況を示す指標  
算出式 = (経常収益) / (経常費用) × 100

#### 【修正医業収支比率】

病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標  
算出式 = (医業収益 - 他会計負担金) / (医業費用) × 100

#### 【病床利用率】

年延病床数に対する年延入院患者数の割合を表し、病院の施設が有効に活用されているかを示す指標  
算出式 = (年延入院患者数 / 年延病床数) × 100

### 3 令和3年度 業務量

#### (1) 入院患者数及び外来患者数

(単位：人)

区 分	令和3年度		令和2年度		前年対比	
	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	増 減	比率 %
入 院	93,440	256.0	95,115	260.6	△ 1,675	98.2
外 来	145,857	602.7	147,069	605.2	△ 1,212	99.2

#### (2) 病床利用状況

許 可 病 床 数	352 床
稼 働 病 床 数	352 床
患 者 延 数	93,440 人
一 日 平 均 数	256.0 人
許 可 病 床 利 用 率	72.7 %
稼 働 病 床 利 用 率	72.7 %

#### (3) 訪問看護訪問件数

(単位：件)

区 分	令和3年度		令和2年度		前年対比	
	訪問件数	一日平均	訪問件数	一日平均	増 減	比率 %
訪 問 看 護	5,802	24.0	4,981	20.5	821	116.5

## (4) 診療科別患者数

(単位：人)

区 分	入 院		外 来		医師数
	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	
内 科	0	0.0	9,808	40.5	1
消 化 器 内 科	12,897	35.3	13,353	55.2	6
循 環 器 内 科	8,835	24.2	9,467	39.1	3
呼 吸 器 内 科	11,864	32.5	8,832	36.5	4
脳 神 経 内 科	12,531	34.3	7,076	29.2	4
内 分 泌 内 科	5,534	15.2	10,461	43.2	3
腎 臓 内 科	5,352	14.7	3,843	15.9	3
小 児 科	0	0.0	1,276	5.3	0
外 科	9,665	26.5	9,862	40.8	9
整 形 外 科	7,820	21.4	10,047	41.5	4
脳 神 経 外 科	3,504	9.6	6,029	24.9	2
形 成 外 科	364	1.0	2,521	10.4	1
皮 膚 科	1,068	2.9	11,254	46.5	2
泌 尿 器 科	2,162	5.9	7,277	30.1	1
婦 人 科	419	1.2	5,825	24.1	0
眼 科	411	1.1	7,267	30.0	2
耳 鼻 い ん こ う 科	944	2.6	11,980	49.5	2
放 射 線 科	0	0.0	1,907	7.9	3
麻 酔 科	0	0.0	0	0.0	0
緩 和 ケ ア 内 科	4,081	11.2	108	0.4	1
歯 科 口 腔 外 科	985	2.7	7,662	31.7	2
リハビリテーション科	5,004	13.7	2	0.0	1
病 理 診 断 科	0	0.0	0	0.0	1
計	93,440	256.0	145,857	602.7	55
診 療 日 数		365		242	

※「医師数」の欄は令和4年3月31日現在。  
任期付職員を含まない。